
もっと早く

ミーシャ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もつと早く

【Nコード】

N3429R

【作者名】

ミーシャ

【あらすじ】

学校でちよつと噂の美羽と夢羽。

「うちの絆は一生だかね」

そう誓い合ったはずなのに・・・

恋に友情なんでも02仔1

そんな2人の青春ストーリー

再会

もっと早く出会っていたら。

もっと早く気づいていたら。

なんであのとき気づかなかったんだろう

「雪が溶けたら何になると思う?」

「.....?」

「春になるんだ。」

あったかい
暖かい春が来るんだ。

ほら、桜だ。美羽みうのさくらだよ。」

「.....後悔なんてしないんだから」

あの日誓ったのに。

もう泣かないと決めたのに。

君の優しさに触れるたびに

どうしても涙があふれてくる

再会、バカが帰ってきた

うわっ！！

「だーれだ！」

ふいに後ろから抱きつかれた。

遠くて懐かしい声。あたしの大好きな・・・

「夢羽！」

「正解だよん。忘れられてたらどうしようって思ったよ
懐かしいな。」

大好きな夢羽。

「・・・バ・・・カ」

「？」

「この大バカ野郎！！」

突然姿消して。

大家さんに聞いたらアメリカ留学だった？！

あたしがただけ心配したと思ってんのよ！」

あーあ。もっとかわいい迎え方だったのにな。

ま。いつか。

だって、2年ぶりに会えたんだもの。

「おかえり。夢羽」

「ん。ただいま美羽」

「うちの絆は・・・？」

「一生だかんね」

今日はそろそろ帰るか。

「バイバイ」

「・・・ぷっ。」

あははっ

はもっちゃった。

久しぶりに楽しい1日になったな。

.....?

なんで夢羽は帰ってきたんだろ。

留学期間はあと2年あるのに・・・

再会／帰還の理由

「むーうー!!!」

「おっ。元気だねえ。なに。久しぶりに心友に会えて高まるう?？」

「違うわっ」

「あははっ」

「笑い事じゃなーい!」

「ったく。置き去りにされたあたしの気持ちも考えろっつの。」

「んで? あんたのことだから何か聞きにきたんでしょ?」

「あっ。そうそう。」

「こっち戻ってきた理由^{わけ}。」

「留学期間終わってないはずなのに・・・」

「なにかやりたいことあるん?」

「ただアメリカの食事が不味かっただけ」

「夢羽・・・あんたってやつは・・・」

「うそよ。バカね。あんたに会いたいからに決まってんでしょ。」

「夢羽・・・やつは大好きっ」

「気持ち悪いわ。」

「ってか、なんで学園ア スの今^{いまいほたる} 蛍^{ほたる}の口調なの?」

学園ア スとは昨年大ブレイクしたスクールコメディの少女マンガのこと。

「だってあの2人。あたしたちみたいじゃん。」

美羽みたいなバカ蜜柑^{みかん}と、あたしみたいな天才蛍。

最高じゃない。」

「あたしは、バカじゃない!」

「・・・」

「うっ」

“you've got mail”

「あ。あたし用事あるんだ

んじゃね。美羽。バイバイ」

「バイバイ夢羽・・・・・・・・・・・・・・・・あー！

まだ聞きたいことあるのに逃げられたっ！」

油断すんじゃないかった。

「ちよつと夢羽！待ちなさい！！！」

再会、幼なじみと同居

「はあ」

夢羽には逃げられるし、雨は降ってくるし・・・今日はとことん
いてないなあ。

「ただいま、ママ雨えー」

「あ。おかえりー遅かったねー。あと、ママは雨じゃないよ。」

「夢羽?!なんで家に夢羽がいるの?ママは?」

「ママなら友達と旅行いったよ。なんか、友達が社員割引でフラン
ス旅行買ったんだって。」

「あんの母親めーっ!」

「まあまあ美羽。怒らないであげて。」

今日から一緒に暮らすことになったから。よろしくね。美羽。」

「夢羽。夢羽のお母さんはどうしたの?」

「ママは出張なの。パリに。」

夢羽のママは雑誌記者で、しょっちゅう出張してる。

その間はいつもあたしが一緒にいてあげてるの

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3429r/>

もっと早く

2011年10月8日20時04分発行